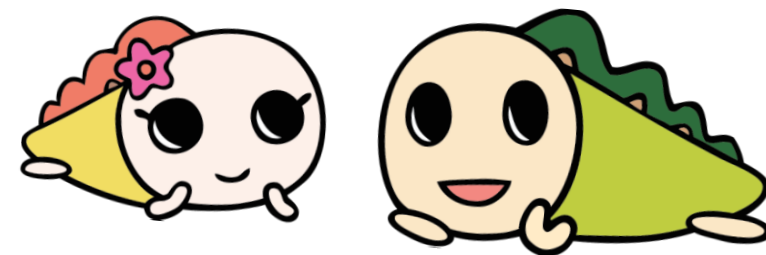


# 杉並区



杉並区は、東京 23 区の西部に位置する「みどりの住宅都市」です。  
 その街並みは、閑静な住宅街に加え、豊かな自然や活気ある商店街など、地域ごとに多彩な表情をみることができます。  
 首都直下地震に備えた減災・防災対策や、少子高齢化の進展等に対応した施設整備のほか、  
 みどりの保全や公園整備など、区民の皆さんが将来にわたって安全・安心に暮らせるまちづくりを進めています。

いざというときの迅速な対応のために

## 河川監視カメラ映像のリアルタイム化

杉並区

### 河川ライブカメラ

LIVE 河川の 今 をすぐに確認できます



これまでの河川監視カメラ映像は5分ごとの更新のためタイムラグがありました。そこで、集中豪雨等による急激な水位上昇にも迅速に対応することができるようにするため、平成 31 年からリアルタイム配信の実証実験を行ってきました。

そしてついに令和 3 年度から、23 区初の試みとなる、IoT 街路灯システムを活用した、河川映像のライブ配信を開始し、リアルタイムで YouTube 専用チャンネルにて確認することができるようになりました。

これにより、迅速な水害対応や避難行動のために必要となる正確な情報を、随時安全な場所で取得することができるようになりました。

地震や火災、水害などあらゆる災害を想定し、事前に備えることで、災害に強く、被災しても迅速に復旧・復興することができる安心のまちづくりを目指しています。

まちごとに光る個性とともに発展

## 鉄道連続立体交差の推進と 駅周辺のまちづくり

踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断の解消に向けて、鉄道を一定区間連続して高架化あるいは地下化することで、道路との立体交差化の推進に取り組みます。

また、駅を中心に、各地域の特性を生かし、にぎわいと多彩な魅力のある、多心型のまちづくりを進めます。

地域住民の方と一緒に、安全で利便性の高いまちづくりを進めることは、区職員の大切な仕事の一つです。



歴史・文化の継承

## 「荻外荘」の復原・整備



「荻外荘（てきがいそう）」は、戦前期に首相を3度務めた政治家 近衛文麿の旧宅。近衛が寝室で自決する直前まで首相官邸に準ずる役割を果たした「荻外荘」は、日本の針路を左右する重要な会談が行われた場所として、平成 28 年に国史跡に指定されました。

築地本願寺等を手掛けた、日本を代表する建築家 伊東忠太設計による現存する4つの邸宅建築の一つである「荻外荘」には、その半分が豊島区内に移築されていたという経緯があります。「荻外荘」の復原・整備最大の目玉は、その移築部分を解体し、部材を杉並区荻窪に運搬、当初建っていた正にその位置に再移築したうえで、「古色塗り」等により近衛居住当時の雰囲気さえも再現する、という点です。このほぼ前例のない取組に職員として参加してみませんか？



荻外荘復原・整備プロジェクト



WORK at SUGINAMI